

たなべ典礼ファミリーホール

智の会通信

2010
初春号
vol.43

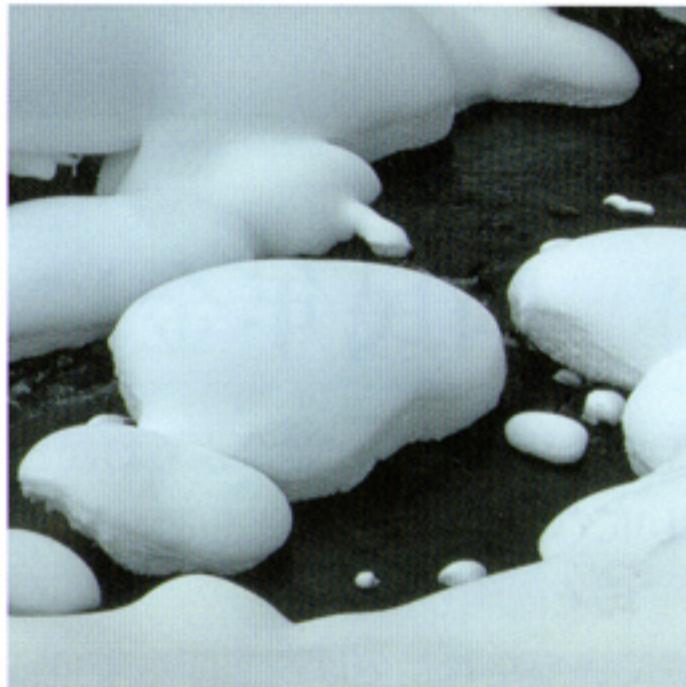


世界的には温暖化現象などと云いつつも、この大雪ではたいへんわが風土の厳しさはなかなか変わるものではありません。

「人間は土着するが、決して『近代化』などすることはない。近代化するのは人間ではなく環境だからである。」と云う人がいました。(劇作家 寺山修司)

こでは人は環境もきびしい風土の中で、この地元を愛していることは間違いない。

昨年から政治的にも大きな変動がありました。景気の低迷などもあいまつて、私たちは期待や不安でこの春を迎えました。



故人に対する想いを要望として捉えるようになってしましました。

これは死から生を見つめるという、これまでの伝統的な日本人の死生観、つまり「死に様の美学」といいますか、そのようなケジメや決意が、生前の生き方に反映されていました。誰もが「死は、後ろから迫つてくるもの」と思い込んでいました。

都会では「家族葬」と云う言葉がはやっているらしい。人が亡くなれば、遺された家族が何かをするのがあたります。それをえて「家族葬」と呼ぶからには、よほど家族との縁が無くされているものだと、逆に感じられてしまう。

だからこそ、最期くらいは「家族葬」で、と云う言葉のイメージで、いかにも家族が中心的な役割を果たしたような気分になるのでしょうか。また一方では「直葬」と云う言葉もある。こうなるともう、それはご遺体の「始末」だけの対応で、決して葬送儀礼には値しない殺伐さがそこにある。

この地方では考え方でしょ。日本全体から見れば、いつの頃からでしょうか、・私たちは故人を偲ぶ思いを、その「故人の立場」になつて考えようとするような情感をなく、いつの間にか遺された「自分」が、



智の会通信 読者プレゼント

書店で売り切れ続出

週刊朝日別冊号「定年後のお金と暮らし2010」
中でも記事「暮らしのリスク お葬式・お墓」は大好評



智の会通信読者の方に抽選で5冊プレゼントします。ハガキに住所・氏名・年齢をお書きになり、あなたが考える「お葬式や供養の問題点」をひとつお書き添え下さい。送り先「たなべ典礼智の会通信プレゼント係」

住所 〒327-0016 栃木県佐野市大祝町2391 *商品の発送をもって替えさせて頂きます。

ファミリーホールのたなべ典礼

●年中無休/24時間受付 ●事前のご相談がなによりの安心。

駐車場拡大しました!

詳しくは たなべ典礼「智の会」事務局まで…

電話 0283-22-1507

お申込みは、いつでも受け付けます
入会金・年会費無料

発行 総合葬祭
たなべ典礼
代表取締役 田辺紀夫
栃木県佐野市大祝町2391
電話: 0283-22-1507
fax: 0283-22-1590

初春に際して

夫婦で考える
定年後の
お金と暮らし
2010

完全保存版
老後の不安解消マガジン

週刊朝日
毎週金曜日発行
年金と保険を基礎から徹底解説
老後10大リスク、葬式、墓、熟年離婚...
定年後の住まい大研究

●退職金・ローリスク・資産運用
1000万円、2000万円、3000万円、資産運用
年金と保険、基礎から徹底解説
老後10大リスク、葬式、墓、熟年離婚...
定年後の住まい大研究

●定年後の住まい大研究
何をどうするべきか? フィードバック欄
大前研一
小宮一慶
荒木山美子

大前研一
小宮一慶
荒木山美子

2010年版の定年後のお金と暮らし

孝女（ハオルー）

あまり聞きなれませんが、親孝行な女性のことではありません。台湾ではお葬式のときに今でも「泣き女」が登場します。この「職業」の女性を孝女、ハオルーと言っています。

日本でも古事記・日本書紀に葬送の際には「哭泣悲歌」が繰り返しされたとあります。死者の前で大声をあげてなくこと（哭）でその魂を慰撫し、同時に周りの遺族や会葬者にもその悲しみを「類感」させる意味がそこには見出せます。韓国でも中国でもお葬式の際には、私たちが見ていてもそれはそれは大げさに悲しみを表現します。なにかはのた打ち回る様な状態で嘆き悲しんでいる姿もみたことがあります。が、一定時間たつと（決められた時間でしょうか？）、けろりとしてまるで別人のように「素」に戻つてまるでそのギャップに驚かされます。

て伝統的に継承されてきましたが、日本では耐え忍ぶ、あるいは涙を見せないことが、いつの間にか死者へのいたわりのようになってしましました。でもそれはほんとうにいいことかどうか。日本人の美学かどうかは歴史的にみて疑問があるところです。最近では「泣く」と云う場面が少くなりすぎたように感じます。



このような慟哭（どうこく）も葬送儀礼においては儀式の要素とし



葬送の歌舞音曲（イメージ）

ワンポイント お葬式実務10

国民年金にも遺族年金はあります

皆さんのところには「ねんきん定期便」は着ましたか？よくわからないところもありますね。厚生年金、国民年金などいろいろ両方加味されている部分がありますのでついあいまいになってしまいます。一般的には、国民年金には遺族年金はもらえないといわれていますが、一部分の条件で支給されることもありますので説明します。

会社員などは厚生年金があり、夫に先立たれた妻は遺族厚生年金に加えて遺族基礎年金（国保の部分に相当）が支給されます。（もちろん一定期間の加入条件必要）そこで国民年金はどうかと云うことです。それは国民年金でも18歳未満の子供がいる場合や、子供が遺族になった場合に限られて支給されます。（これは知っておくべきです。）

ただし子供が既に成人している、あるいは子供がない妻で国民年金しか加入していない自営業者などにとっては、不利で厳しい制度ですね。

◆ねんきんダイヤル・0570-05-1165（全国共通相談窓口）

のりぶの ひと言



地元の私たちは、当たり前のように身近な景色を眺めていますが、実はいろいろな素晴らしい自然や素朴な楽しみがそこにあることを知ってもらいたいものです。

葬送や供養の慣習やしきたりも、「そういうもんだ」と云うだけで、受け継がれてきたように思いますが、やはりこの地方ならでは、の行いも多々あるはずですね。それを当たり前にやってきて、誰もその「文化」に気がつかないこともあります。たなべ典礼ではそのような習俗にまつわる地元文化にも目を向けて、なにか昔ながらの風習や手作りの葬具（幡・紙花（華））も残していきたいと思います。

読者の中で古い香典帳や葬儀の配役表（葬列順序など）をお持ちの方は、是非見せて下さい。写真を撮って専門の先生に見て頂きたいと思います。葬送にかかる記録などはたいへん貴重な歴史的な文化価値があるそうです。



三床山

先般、読売新聞に佐野市郊外（旧田沼町）の三床山（335m）のことが出ていました。ヴェルデ佐野CCと唐沢GC（三好）の間にあり、鹿嶋神社が登山口になっているようです。一床山、二床山など三つの山が連なっており、暖かな日には手ごろなハイキングが出来そうです。早春にはセツブンソウやカタクリなどが咲き、目を楽しませてくれます。

「栃木県では第1号の葬祭情報管理適格事業所」・P·I·P認証
(内閣府認定NPO日本葬祭情報管理協議会が認定)

葬祭にかかる個人情報を守ります。
安心の事前相談・打合せ・事後対応を
認定されています。

